

第1号様式の2

景観計画区域内における行為の変更届出書

平成 29 年 7 月 5 日

(あて先) 名古屋市長

届出者 住所 名古屋市千種区東山通1丁目35番地
 氏名 バックオフィス 有限会社 代表取締役会長 川口 進
 (法人の場合は所在地、名称及び代表者氏名)
 電話 (052) 783 - 6666

景観法第16条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

法第16条第1項の規定による届出年月日	平成 29 年 6 月 16 日
法第16条第1項の規定による届出番号	29-10-35
計画名称(件名)	(仮称)ピサイレント本山 新築工事
行為の場所	名古屋市 千種 区 本山四丁目55番1、55番2、56番
	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 大規模建築物等 <input type="checkbox"/> 都市景観形成地区 (地区)
変更する設計又は施行方法	変更する事項 外観の変更、緑化箇所
	変更前 建物四隅のスパンドレルの色…黒N2.5
	変更後 濃いグレーN5.0に変更。 緑化箇所の追加。
変更理由	不適合箇所を適合させるため。

※届出年月日	平成 29 年 7 月 5 日	※届出番号	29-10-35
		※文書番号	7 住都景 第 25 号

(注) 1 該当する口の中にレ印を付けてください。

2 ※印のある欄は、記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする

添付書類

(1) 変更部分を説明した景観配慮事項説明書(届出者の変更など軽微な場合は除く)

(2) 前回届出時から変更になる図面

景観配慮事項説明書 《 大規模建築物・大規模工作物用（都市景観形成地区を除く） 》

計画名称(件名)	(仮称)ピサイレント本山 新築工事		
連絡先(会社名)	株式会社 加藤設計 (電話) 052-931-6671	担当者	■

地区概要等	用途地域(※1)	近隣商業地域	(法定) 建ぺい率/容積率(※1)	80%/300%	(計画) 建ぺい率/容積率	45.21%/297.38%
	防火地域(※1)	準防火地域	高度地区(※1)	絶対高45m高度地区	緑化率の最低限度	10%
	その他区域、地域、地区(※1)			許可・認可等		
	景観基本計画の位置づけ	景観自立地区(番号) C1-03本山	景観整備の基本目標 景観整備の基本方針	緑と地形の変化に彩られた、若々しいにぎわいをもつまちをつくる 四谷・山手通の北の拠点である本山交差点付近を中心に緑と地形の変化に彩られた若々しいにぎわいのあるまちをつくる。		
景観自立地区の地図、内容はこの様式をダウンロードしたページからご覧いただけます。エクセルで内容を入力される方は地区を選択してください。						
計画にあたっての基本的な考え方	このマンションは音楽を趣味にしている方をターゲットにしており道路側と駐車場側の外観は薄いベージュとシルバーの市松模様とし建物の角を黒にすることにより派手さを抑えつつピアノのような印象を出している。その模様も角型の細かいピッチのスパンドレルや仕上げを塗装仕上げとすることにより反射光を抑え、近隣への影響を抑えるよう配慮した。それに対し、西側はコンクリート打ち放し仕上げとしコンクリート本来の色味を出した。					
右の項目が図面に記載されているかご確認下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> 遠景・中景、近景がわかる周辺の写真、隣の敷地境界の写真を添付した。 <input checked="" type="checkbox"/> 外構の仕上げ(植栽(樹種、樹高)、舗装(材質、色)、フェンスの形態など)も図面に記入した。 <input checked="" type="checkbox"/> 立面図又は断面図に建築物又は工作物の高さを記入した <input checked="" type="checkbox"/> 立面図に仕上げ材を明記した。図面に正確な色が着色できないときは色見本などを添付した。					
項目	景観形成基準及びその他景観に配慮した事項					
大規模建築物	基本事項	<input checked="" type="checkbox"/> 周囲の土地利用や景観に調和するように、大きさ、建築物の配置などを配慮した。 <input type="checkbox"/> 周辺に高い建築物があるため、高い視点からの景観に配慮した。 <input type="checkbox"/> その他具体的に []				
	外観	彩度6を超える部分 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 一壁面に対する割合 パーセント <input checked="" type="checkbox"/> 周囲の景観と調和するよう外壁の材質や色彩に配慮した。 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺に圧迫感を与えないように、外壁面の構成や配色に工夫した。 <input checked="" type="checkbox"/> 街並みと建築物の接点となるエントランス周辺は、特に開放感があるように工夫した。 <input checked="" type="checkbox"/> 外壁に複数の色を使う場合は、色の組み合わせや配色に配慮した。 <input checked="" type="checkbox"/> 壁面には低彩度(彩度6以下)の色を使用した。 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺に住宅等がある場合は、光沢のある外壁材やガラスによる反射光に配慮した。 <input type="checkbox"/> その他具体的に []				
		駐車場	共通事項 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場の周囲を緑化した。 <input type="checkbox"/> 駐車場の位置は建築物等の陰に隠れる部分に配置するなど配慮した。 <input type="checkbox"/> 駐車場の出入口は、出来るだけ側道側に配置するなど配慮した。 形態 <input type="checkbox"/> 平面式 <input type="checkbox"/> 立体駐車場 <input type="checkbox"/> 出来る限り道路に面して設置しない工夫をした。 <input type="checkbox"/> 平面ハーモニカ式 <input type="checkbox"/> 駐車マスが6台以上連続して道路に面しないよう配慮した。 <input type="checkbox"/> 機械式駐車場 <input type="checkbox"/> 地上部分を1段とするか、目隠しをなどの工夫を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> その他具体的に [駐車マス部分の緑化]			
	緑化	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化協議対象 (<input type="checkbox"/> 協議済み <input checked="" type="checkbox"/> 協議中 <input type="checkbox"/> 未協議) <input type="checkbox"/> 緑化協議対象外 緑地 55.00 平方メートル/敷地に対する割合 10.70 パーセント <input checked="" type="checkbox"/> 道路境界、エントランス付近など景観を形成する上で効果的な場所に緑化を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> その他具体的に [駐車マス部分の緑化]				

項目		景観形成基準及びその他景観に配慮した事項
大規模建築物	基本事項	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物の付属設備は目立たないよう設置場所や色彩などに配慮した。 <input type="checkbox"/> 建築物の付属設備が遠景から見える場合はルーバーを設置するなど目隠しなどの工夫を行った。
	付属設備 ごみ置場	<input checked="" type="checkbox"/> 環境局と協議済み <input type="checkbox"/> 環境局と協議中 <input type="checkbox"/> 未協議 <input type="checkbox"/> 協議不要 <input type="checkbox"/> ごみ置き場など付属設備は建築物と同じ外壁素材にするなど周囲から目立たない工夫をした。
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 隣地に隣接する壁、塀やフェンスは周囲への圧迫感を軽減する配慮をした。 <input checked="" type="checkbox"/> 室外機は床置きにして手摺部分に隠れるようにするなど、遠景からの景観に配慮した。 <input checked="" type="checkbox"/> 物干し竿を使用しないときは、竿が手摺部分に隠れるようにするなど、遠景からの景観に配慮した。 <input type="checkbox"/> 広告物を設置する場合は、彩度が高い色を使わないことや、位置、大きさなど建築物との調和に配慮した。 <input type="checkbox"/> その他具体的に []
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 敷地内の舗装は、歩道の舗装との調和に配慮した。 <input type="checkbox"/> 敷地外から望見できる敷地内の法面は、緑化や化粧ブロックなど景観上の配慮をした。 <input type="checkbox"/> 景観上重要な建造物及び地域(景観重要建築物、街並み保存地区など)周辺では景観上十分な配慮をした。 <input type="checkbox"/> その他具体的に []	
大規模工作物	基本事項	<input type="checkbox"/> 周囲の土地利用や景観に調和するように、大きさ、工作物の配置などを配慮した。 <input type="checkbox"/> その他具体的に []
	外観	彩度6を超える部分 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 一壁面に対する割合 パーセント 景観に特に配慮されたことを建築物のチェック欄を参考に記載してください。
	緑化	<input type="checkbox"/> 緑化協議対象 (<input type="checkbox"/> 協議済み <input type="checkbox"/> 協議中 <input type="checkbox"/> 未協議) <input type="checkbox"/> 緑化協議対象外 緑地 平方メートル/敷地に対する割合 パーセント 景観に特に配慮されたことを建築物のチェック欄を参考に記載してください。
	付属設備	景観に特に配慮されたことを建築物のチェック欄を参考に記載してください。
	その他	景観に特に配慮されたことを建築物のチェック欄を参考に記載してください。

景観アドバイザー及び都市景観室からの指摘事項(※ 事前相談後に記入してください。)

黒と白の市松模様の刺激が強すぎるので市松模様をやめるか色を薄くしたほうがいい。
 ごみ置場の場所を角からずらす。
 北側をもう少し緑化したほうがいい。
 6/28
 四隅の黒色を目立たないように。
 緑化部分を多くしたほうがいい。

指摘事項への対応(※ 事前相談後に記入してください。)

黒と白の市松模様を薄いベージュとシルバーにするのと建物角を黒にすることでまわりへの影響に配慮した。
 ごみ置場を南側に移動し、北側の緑化を増やした。
 6/28
 四隅の黒色を濃いグレーにした。
 緑化部分の追加。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(※1)用途地域・防火地域などについては、都市計画課窓口で販売している用途地域図又は、インターネットより名古屋市都市計画情報提供サービスから検索して記入してください。



